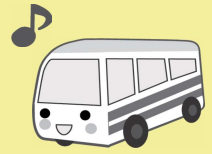


公共交通部会

第9回バスのってスタンプラリー ～枚方・寝屋川桜めぐり～

今年は過去最多の246人が参加！！



環境にやさしい公共交通の利用促進をねらい、路線バスで各所をめぐる恒例の「バスのってスタンプラリー」を4月10日（土）に開催しました。参加者は、枚方バスデーバスタウンマップ、枚方・寝屋川桜マップ、スタンプシートなどを手に、各スタンプポイント、クイズポイントを回り、獲得ポイント数に応じてガラガラくじを引き商品（景品は京阪電車提供）をゲットするというお楽しみも準備しました。

岡東中央公園に集まった参加者は、受付でサイコロを振り、出た目で最初に行くポイントを指定されましたが、その先は、自由に回れるように設定しました。打上川治水緑地で丁度昼頃になるケースが多く、桜の木の下で、お弁当を広げる参加者の姿が見られました。今回は、寝屋川市域にも広げ、広範囲になりましたが、枚方市駅→香里団地→香里園→三井団地→打上川治水緑地→寝屋川市駅というルートがあり、意外と全域回れる可能性がありました。

アンケート結果では、「大変面白かったと面白かった」が93%、「これからもっと公共交通に乗ってみようと思いましたか」が87%と、大好評の結果となりました。



サイコロを振って行き先が決定

- ★最初のポイント→①天の川堤防 ②百済寺跡公園 ③水面廻廊
- ④以楽公園 ⑤桜公園 ⑥スペシャルバス（各ポイント巡り）
- ★その他のポイント→①香里ヶ丘図書館 ②成田山不動尊
- ③友呂岐緑地 ④イシイ（寝屋川市駅前） ⑤打上川治水緑地
- ⑥三井団地 ⑦寝屋川市公園墓地

ごみ部会

～循環型社会のための生ごみのたい肥化システムと

その活用を探る～

ごみ部会では、循環型社会のために必要な事柄の一つである、生ごみのたい肥化システムについて学ぼうと、6月11日、滋賀県にある株式会社高島循環農業センター根圏活力農法研究所へ視察に行ってきました。ここでは生ごみが“高速高温発酵層”により、わずか2週間で軽くて無臭の完熟たい肥になるそうです。出来上がった完熟たい肥を田畑に投入し、農薬や化学肥料を使用しない健康な農作物作りが行われています。

循環型社会を目指し活動をしているごみ部会にとって、今後生ごみの問題を考える上でのモデルの1つになりました。

※根圏活力農法とは、農薬や化学肥料を一切使用せず、土中の生物たちと農作物が力を合わせて生長していく農法です

■本社■

滋賀県高島市安曇川町田中2382 TEL：0740-32-0796 URL：www.konkenbio.com



田圃には絶滅危惧とされているイチゴウコケが生息



上下左右に枠が動き密閉ができる高速高温発酵層

自然エネルギー部会

自然エネルギーの現状について見学会を実施 「ひらかた自然エネルギー学校」の開講に向けて準備を進める

自然エネルギー部会では、自然エネルギーの利活用の現状を学ぶため、6月25日に「おおさかA T Cグリーンエコプラザ」(大阪市住之江区)と「大阪ガス実験集合住宅NEXT21」(大阪市天王寺区)の見学を実施しました。

グリーンエコプラザは、最新の環境ビジネスや各企業の環境への取り組み・活動を紹介する施設です。たくさん展示がある中でも特に興味深かったのが、ミズノの関連会社ミズノテクニクスが開発したゴルフクラブの素材・炭素繊維強化プラスチック(CFRP)を使用した小型風力発電装置用の翼です。弱い風でも回り発電効率が高く、価格も既存製品の1/4程度になるそうです。その他にも身近なものから、最新技術まで展示されているので、驚きと発見がたくさんありました。



炭素繊維強化プラスチックで作られた翼



NEXT 21の外観

NEXT21は、持続可能な都市住居を支える住まい、エネルギーシステムを検証するため、実際に大阪ガスの多種多様な家族形成の社員16世帯が暮しながら、様々な実験を行い、データの収集を行っています。周りはオフィス街なので、そこだけ緑にあふれ、まるでジブリのアニメからでてきたような建築物です。

約1,012の植栽を地上から屋上まで縦方向に積み重ね、大きな規模の自然環境を作り出しており、そこには野鳥が飛来し、野鳥が種を運んで自生で桐が生えるほどです。このように都市部で、自然とエネルギーを駆使しながら共存できる住まいは、とても理想的でした。

自然エネルギー部会では、今後も様々な情報を収集し、学ぶとともに、地球温暖化防止のためには、どのようなエネルギーが望まれるのか、皆で考えていきたいと思っています。今秋の9月～11月に「第4回ひらかた自然エネルギー学校」を開催予定です。

環境教育サポート部会

環境副読本「わたしたちのくらしと環境」の勉強会をしています

現在、環境教育サポート部会のなかの環境副読本編集チームでは、枚方市が毎年編集・発行し、市内の小学4年生に配布されている環境副読本「わたしたちのくらしと環境」の勉強会を定期的

に開いています。私たちのアイデアで環境副読本を作るとしたら、どのような内容がよいか、理科や社会科など他の教科と環境教育の関連性はどのようになっているか、知識の定着だけでなく関心や態度を広げ、行動するきっかけにつながる学習にするためにはどのようにすればよいかなどに留意して、副読本を読み合わせたり、案を持ち寄って議論したりしています。

当部会がおこなっている出前環境授業と環境副読本の活用をどのように関連させるかということも、部会活動のあり方の見直しに関わる課題と考えています。この勉強会には、環境教育サポート部会だけでなくネットワーク会議の会員の方ならどなたでも参加可能ですので、ご関心がおありの方はどうぞご参加ください。ただし、宿題が課せられることがありますので、その場合にはよろしくお願



勉強会の様子

お知らせ コーナー



「くらわんか塾」環境教育サポーター 養成講座参加者募集

小・中学校、幼稚園のS-EMS（枚方市学校版環境マネジメントシステム）の取り組みをサポートする「環境教育サポーター」を養成する講座です。修了者は、環境教育サポート部会の推薦により、S-EMSの審査活動に当たることができます。

【参加費】2000円（全8回分）

【申込方法】①参加者氏名（フリガナ）

②郵便番号・住所 ③電話番号

④メールアドレスまたはFAX
番号

⑤受講動機及び現在の活動状況

①～⑤を明記し、メールまたは電話、FAXでお申し込み下さい。

【申込締切】7月31日（土）※抽選で20名

【その他】講座を修了された方には「環境教育サポーター」認定証を発行します。

【講座日程】8月21日（土）～11月27日（土）
午前10時～正午

【開催場所】メセナひらかた会館ほか

【申込先】jimukyoku@hirakata-kankyoku.net

TEL：072-847-2286

FAX：072-380-4591

事務局のFAX番号が変更になりました

事務局にFAX専用回線を導入しましたので、FAX番号が下記の通り変更になりました。番号を登録されている方は、変更をお願いします。

FAX：072-380-4591

「第4回ひらかた自然エネルギー学校」 受講者募集

地球温暖化防止を目的に、多くの市民に自然エネルギーの利用と普及について考えて頂き、家庭や地域で自然エネルギーを普及させるための人材育成とそのネットワーク作りを目指して講座を開講します。

第1回

【日時】9月26日（日）午前10時～

【集合場所】ラポールひらかた

【内容】枚方市及びひらかた環境ネットワーク会議の自然エネルギー利活用の取り組みについて
枚方市内エネルギースポット巡り

第2回

【日時】10月24日（日）午前10時15分～

【集合場所】NEXT21（地下鉄谷町六丁目下車）

【内容】濱恵介氏（大阪ガスエネルギー・文化研究所顧問）の講演
大阪ガスNEXT21の見学

第3回

【日時】11月14日（日）午前10時～

【集合場所】穂谷

【内容】上武邸と自然農園の見学

※受講料などの詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

「くずは駅前いきいきイベント」が開催されます

樟葉西校区コミュニティ協議会では、人と人とのつながり、心豊かな連帯感で結ばれた地域社会を築くことを目指し、「くずは駅前いきいきイベント」を開催します。パフォーマンスや各協力団体が育てたプランターの花々で駅前を彩ります。

【日時】9月19日（日）午前11時～午後4時

【場所】京阪・樟葉駅前

【主催】樟葉西校区コミュニティ協議会

※ひらかた環境ネットワーク会議ではバスや電鉄その他団体をつなぎ、近畿建設協議会から支援金を頂き協力しています。

会員数 168名：正会員 151名（個人 118、非営利団体 21、営利団体 12）

賛助会員 17名（個人 16、非営利団体 1、営利団体 0）※平成22年6月30日現在

これゆけエフ企業！！



枚方市地球温暖化対策協議会の会員事業者さんで、地球温暖化防止に積極的に取り組んでおられる元気な事業者さんを集める企画です。

記念すべき第1回目は「コマツ 大阪工場」さんです！

積極的な環境対策に取り組む

CO² 約 40%削減（2000 年度比）を見込む

パワーショベルなどの建設・鉱山機械を製造しているコマツでは、2000 年度比 CO²20%削減（原単位）を目標に掲げ、環境対策に取り組んでいます。その基礎となっているのが全社員への環境教育です。7 年前から地球温暖化を中心とした環境の知識や意識を高めるパソコン学習を取り入れ、講習会も行っています。そ



↑総務部環境課の柏原信吾さん

れに加え、全部署に環境担当をおき、総務部環境課を中心とした環境教育の組織が確立していることが目を引きます。教育の成果は、社員の自主的な環境対策行動に表れてきています。

教育以外にも、コマツは環境に配慮した設備整備も行っています。環境課の柏原信吾さん（上写真）の提案で、駐車場を芝生化して緑化面積を広げる事に成功しました。さらに風力・太陽光発電機を設置し、外灯など駐車場で使用する3分の1の電力を自然エネルギーでまかっています。今後はさらに環境に配慮した設備を整えていくことが課題だそうです。

スウェーデンのCO² 排出量ゼロの会社で「地球環境に配慮する事は生まれた時から身につけている」と聞いた環境課の丸山幾代実さん。「私たちがそうなりたい」

と穏やかな笑顔の中に、今年度には目標をはるかに上回る、2000 年度比 CO²40%弱削減の達成を見込める会社の担当者らしい強さと意気込みを感じました。

コマツ 大阪工場 総務部環境課
枚方市上野3-1-1
TEL: 072-840-4160



←駐車場に設置してある風力・太陽発電機

編集後記

昨年暮れの新聞に「地産地消」ならぬ「旬産旬消」という言葉が載っていました。試算によると、燃料を使って暖房するハウス栽培される国産トマトの場合、生産にかかるCO²の排出量は、輸送の約5倍に達するそうです。旬の食物は、自然の恵みでおいしく、栄養たっぷり、安くその上CO²削減に貢献と3拍子も4拍子もそろっている。旬の食物できれば地産のものを、おいしく頂き、低炭素社会を目指しましょう。(廣田 記)



ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第26号

平成 22 年 7 月 1 日発行（年 4 回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議
〒573-0042 大阪府枚方市村野西町 5 番 1 号

サブリ村野内（旧村野小学校）

電 話 072-847-2286

F A X 072-380-4591

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：丸井 晶子

編集責任者：廣田 武司

この会報誌は古紙再生紙・ソイインクを使用しています。